

令和3年度 予算編成方針

新型コロナウイルス感染症の影響により、市の財政運営の前提条件は根底から変わりました。しかし、私たちには市民の生活を支える責務があります。

歳入の減少が想定されるなかで施策の成果は向上させる、いままでにない知恵や工夫が求められます。

ピンチをチャンスに転じる、令和3年度予算編成をその契機とします。

令和2年（2020年）9月1日 豊中市長 長内 繁樹

集中変革・重点投資

○危機克服のための財源創出

様々な改革の前倒しにより、危機を乗り越えるための財源を創出します。

○変革のなかでの投資、変革のための投資

重点項目(※)に留意しつつ、「いま」でなければならぬ投資に財源を投入します。

データとエビデンスに基づく予算配分

○施策の成果に対する説明責任

財源を投入するにあたってはデータとエビデンスの視点を重視し、事業の有効性・効率性および施策の成果について客観的に説明できることとします。

※『経営戦略方針2021』の予算重点項目

- ・ デジタルガバメントの推進
- ・ 市民の健康や暮らしを守る・地域経済の再生
- ・ 南部地域活性化の推進